第135号

発行所
新潟県中魚沼郡
中里村公民館
毎月1回15日
定価 1部 5円

なかさと

私たちの村

人口	8,214
男	4,054
女	4,160
世帯数	1,699

8月1日現在

進められつゝある
地域農業開発計画

新聞紙上などで既に報じられているが、国は苗場山麓地域開発構想を打出し、昭和四十二年度において六百万円の予算を計上し、国、県、関係市町村（津南町、中里村、十日町市、川西町）三者一体による調査態勢を整えて現地調査を行なっているが、この計画構想によると、第一年次（四十二年）には、地域の現況（自然的、社会的、経済的諸条件ならびに農業、農家、水利交通、流通事情等）の概査を実施してこれらを明かにする。さらに現況の把握に基づいて、地域の未開発の原因を根本的に究明、農業開発のため必要な諸事業の大要をつかみ、地域全般の開発構想を策定し、それぞれ区分される諸事業のうち、開拓事業については、地区別の開発計画を策定し、これらの地区別の事業効率及び地元体制等により地区の精査に入る順位を決定することになっている。昭和四十三年には現在の信濃川水系の中での調査を、開拓パイロット制度にのせ、地区計として昭和五十年までには完成させたいとしているものである。

この開発構想によれば、地域面積一万六千㌶、農地造成可能面積一万三千㌶（畑一万一千㌶）を造成し、水田二千㌶を水田二千㌶を造成し、水田を主軸にとした畜産等の大主産地を形成し、農家の経営規模拡大を図り、全国勤労者の生活水準又はそれ以上の所得を目標に、安定した豊かな農村社会建設を目的としているもので、これに要する総事業費は百六十億円といわれている。

わが中里村関係の造成可能見込面積は三千㌶（現在の三倍を上廻る面積）で、中里村はこの大構想による開発地域の中心的位置と役割をもつものであるが、農業開発の面においてはまさに画期的な大開発となるであろうといわれているだけに、村民のこれに寄せる一大関心をのぞむと同時に、農業への一層の意慾と大きな希望をもって進められなければならないことである。

中里村はすでに、先年より清津川右岸段丘地開拓パイロット事業に着手しており、これまた昭和四十五年完成をめざして現在着々と進行しているが、明昭和四十三年には上山、市之越台地からいよいよ開田工事を行なう計画が、県と清津川土地改良区によって立てられている。この開拓パイロット事業が完成したあかつきには、既報のように二万五千俵の米が生産される。この産米のほとんど全部が国に売渡される見込みのもとに、中里農業協同組合側もこの受入れ体制についてはしんげんに取りくんでいる。村においても完成後の受入れについては、現況経営の省力計画について関係機関の技術陣と検討を進めている。

ともあれ、苗場山麓開発だ、パイロット事業だといっても、その関係地域の農家の姿勢が問題である。諸事業の円滑な進歩も完成後の受入れについても、すべて受益農家の態度に成否がかかってくるのである。夢であったパイロットも、苗場山麓開発もまたいつまでも夢ではない。夢だといっていい気になっているわけにはいかない。地域開発の槌音はすでに高々と響いているのである。今こそ、眼を大きく開いて、それこそ夢のような素晴しい農業地帯をつくり出すための努力を惜んではならない。

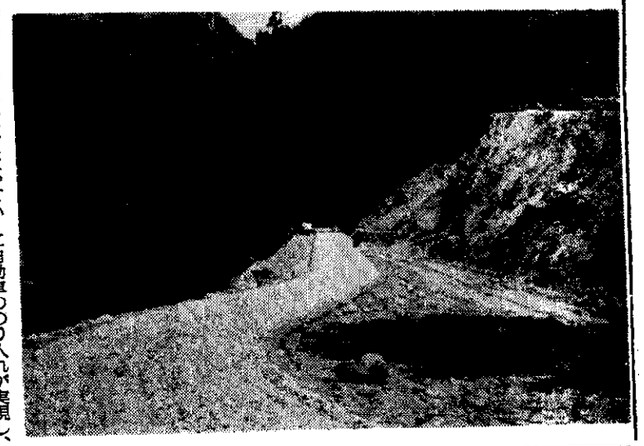
地域の繁栄は土地基盤に立脚してまず生産増大を図る以外にない。土地を愛し、生産に意慾を燃やすところにこそ、住みよい豊かな理想郷土が実現できるのである。日雇労働も現段階においてはやむを得ない面もあるが、とかく消費経済に引きまわされている今の生活では、けっして安定した農家経営ではない。農家個々において、なかんずく青年層においては充分将来の見通しをもって、この開発の計画構想を考えてもらいたいものである。

林道、西方線
43年完了をめざして

真夏の太陽を受けるがら、ダダッ、ダダッゴーとトラクターショベル、ブルドーザーの岩盤切り取り作業音が林の中をこだまする。

民有林々道開設事業林道西方線工事は、いま西田尻「清津峡橋」から千百米地点が現場である。この工事は四十一年、四十二年ともに大村建設株式会社が請負四十一年に四百三十六万円を我し、四百万完成、四十二年六月より十二月初旬までに千四百二十七万円で九百㍍仕上げる予定になっている。

この道路の全延長は二千五百㍍、幅員四㍍で、四十三年度分千二百㍍が完成すれば、部落民の長年の念願であった、部落内に自動車ののり入れが実現し、四十三年の工事完了がまちのぞまれている。



【写真は完成した四十一年分の四㍍道路】

納期限のおしらせ

昭和四十二年度個人事業税第一期分の納期限は八月三十一日です。

納税通知書は八月十日頃までお手許にお届けする予定。

みんな揃って期限内納入下さるようお願いいたします。

納税の取扱は、銀行、郵便局、又は財務事務所窓口、納税について御不審の点がありましたら遠慮なく申し出下さい。

十日町財務事務所

子供から見た両親

斉藤大馨

二十二年前にあっと驚く間に二十数万人の生命をいけにえにした。怒び難きを忍んで太平を開かれた八月十五日の玉音放送も「特殊爆弾」に見舞われなかったら、実現しなかったにちがいない。私どもはめぐってきた原爆記念日並びに終戦記念日にあたり、心から冥福を祈るとともに、平和への決意を新たにまづもって心したい。「土用なかばに秋風そ吹く」とはよくいったもので、お盆を迎えて朝夕の涼風が心地よい。さて少し古い話、六年前の話しになるのだが奈良県のある小学校で「子供から見た父母」のアンケートをとったことがあるのを思い出している。なかなかしんらつで考えさせられる。まず「お父さんをすきと思った時」は、私のゴハンをよそってくれた時、悪いことをしたと後悔しているとき、叱からなかったとき、ねぼきを着せてくれた時になっている。「お父さんをきらいと思ったとき」は、わけもきかずにおこったり殴ったりする時、お母さんとけんかをする時、お酒をのんでおこる時、はらが立っている時、私がなにをしておこる時が筆頭を占めている。

つぎに「お母さんを好きと思った時」は、よその人に親切にしてあげる時、なんでもやさしく教えてくれるとき、一しょに遊んでくれる時である。「お母さんをきらいと思うとき」はブツブツ小言をいう時、ちょっといってなかなか帰ってこない時よその人の悪口をいう時が一番イヤだという。

両親の日常生活が、純真な子供にどう映っているかは、大人として親としてもっとも大きな関心事である。いくらえらそうなことを書いたり、しゃべったりしても、家庭の生活が乱れていたら、何もならず、から念仏になってしまう。

家庭生活ほどみにくい本性をさらけ出すところはない。自宅から一歩外へ出ると、お互い人間は世間態をつくるため、四重に五重にも「心の武装」をするだから本性が本性のままにあらわれていない。ところが家庭に帰ると、一度に緊張がゆるんで恥も外聞も忘れて、ついそのということになる。

それだけに子供の批判は恐ろしいと、私はつくづく反省させられる。昔からいわれていることだが、一番苦手なものに家内があるといわれている。たしかにその通りで、彼等は日頃の弱点を、見ぬき見とおしているからである。

このアンケートを見て、心に思いあたらぬ両親はあるまい。まことにそのものづばりで、負うた子に教えられて浅瀬を渡る思いがする。親は子の鏡であり子は親の鏡に間違いはない。

夫婦げんかは子供から見てやりきれないものらしいが、余りひどくなると殺人さたになりかねない。自己批判もいい加減のところで妥協せず、こういう自分の根本無明を徹見したい。

さらに又「大人から見た大人」の調査をしたら、こんな回答があったという。「男のいいところ」はバット割切りの早いこと、女性の前では転んでも痛いといわないこと。「男の悪いところ」は、気分の悪いとき八つ当りすること、女房などうでもよいということ。「女のよいところ」は、いつも美しくありたいと願っていること。子供のために頑張ること。「女の悪いところ」は、年をいやに気にすること、人前と一人のときの差がはげしいことなどになっている。

これもみんな身におぼえのあることで、人間としての道を求めるものには、あらゆるものが師となる。人生はどこまでいっても求道、求道の連続である。そこに無限の可能性をもつ、創造的人生が展開される。一体禅師でさえ「きのうは迷いぬ、今日は悟りぬ」と、述懐しておられる。明るい家庭をつくる、それは誰でもない、私ども一人一人が、一瞬々々の積み重ねで個の家庭生活を乱さないよう、努力精進する他に道はないと思う。

第十二回村民運動会
みんなで参加しましょう

公民館では、スポーツを通し健全なる社会体育の振興と親睦融和をはかり、民主的、協力的な村民の気風をつくろうと、村主催のもとに第十二回村民運動会を来たる、八月二十七日、午前九時半より田沢校グランドにおいて開催致します。当日は、農作業の都合をつけて、村民のみなさんの多数ご参加くださるようお知らせいたします。

◎期日 八月二十七日午前九時三十分より
◎会場 田沢小、中学校グランド
◎チーム
①貝野地区
②倉俣地区
③手沢、田沢、東田沢、如来寺、農里
④小原、桂、藤原、上山、田中
⑤千溝、荒屋、山崎、通り山
⑥高道山地区、清津峡地区
◎種目
〔男子〕百米、千五百米、八百米七百米リレー、障害物競走、たるころがし、たばこレース、猫に紙袋
〔女子〕二百米、百米、四百米リレー、六十米、スプーンレース
〔男女〕走り巾とび、砲丸投げ、むかで競走、暗算競走、紅白玉入れ、綱引き、ボール送り、幼児ソース、民謡おどり
◎表彰
総合成績第三位まで、優勝旗カップ、タテ及び副賞を呈します。

人生往来

◎産声

子の名	父の名	部落名
森道男	哲男	荒屋
藤ノ木美佐子	勤	小出
樋口照美	勲	荒屋
大島一美	長吉	芋川新田
滝沢仁志	寿雄	角間

◎高砂

清滝孝子	正孝	東田尻
麻生実子	敏夫	山崎
藤田勝重	格平	宮中
高橋治一	満雄	倉俣
高橋清美	善一	倉俣
〔新郎〕高野二郎（三五）山崎		
〔新婦〕荒瀬良子（三〇）山崎		
〔新郎〕吉泉俊明（二八）宮中		
〔新婦〕須藤知枝子（二七）山形県		

◎弔天

氏名	年令	部落
村山米作	（七九）	田沢
服部キセ	（八一）	如来寺
村山正一	（五九）	程島
池田イト	（八一）	宮中
阿部トラ	（八九）	新屋敷
鈴木政吉	（八一）	重地
大口ケサ	（六七）	重地
島田道康	（〇）	倉俣

夏を健康で楽しく

健康を高める食生活

健康は自からつくるものである。太陽のふりそそぐ夏、わが家の食生活をたのしく計画することが大切である。

①朝昼晩毎食の栄養が大切であり、六つの基礎食品を上手に組合せること。
②肉魚、卵は大切なたんぱく質の食品である。これらを取り入れ、献立を工夫してみる。
③油を上手につかって、サラダや揚物、中華風料理など献立に変化をもたせる。
④緑黄野菜、生野菜をたっぷり食卓に。
⑤台所の衛生、手洗の励行に気を配ること。

赤痢の予防について

赤痢は口から入る伝染病であるので、感染を防ぐ方法として次のことに特に注意する。

①食事の前、外から帰ったとき

盆近く卓取る我が手に玉の汗　樋口キミ
豊作を読み合ふ人や稲の花　時習
涼しさや用なき橋の行き戻り　海人
迎火や思い出多し少年忌　開史
手花火の消え落ち幼児息つげり　土牛

用便の後などには、必ず手を洗うという習慣を身につける。
②手や指から飲食物が汚れることを防ぐこと。
③水道、井戸、河川のよごれに注意し川水を、家用水として使うことをさけること。
④下痢症等、赤痢に似た疾病があった場合は、早く医師に診てもらうようにすること。

お知らせ

子宮がん検診日が近づいて来ました。

日時 八月二十二日、二十三日二日間
会場 田沢小学校理科室

農地を転用するときは

近頃宅地建物の需要の増加、経営の合理化に伴う農地の転用が増加の傾向にありますが、農地法の規定によれば、第四条（自分の土地の転用）及び第五条（所有権移転及び賃借権の設定による転用）には、農地を農地以外のものにする者は、省令の定める手続により都道府県知事の許可を受けなければならないと定められています。

農地（農地法での農地は、現況主義でありますので台帳地目が山林、原野であっても、現況が田や畑であれば農地とみなします）を農地以外の目的、例えば住宅、畜舎、養鶏施設、植林等に用途を変更する場合は、工事管理手前に、農業委員会を経由して県知事の許可を受けなければ、地目を変更することはできません。

家を建てる場合、建築許可があっても、知事の転用許可がなければ家を建てることは、たとえ自分の土地であっても農地法の違反となり、三年以下の懲役又は、十万円以下の罰金に処せられることになっております。

従来、やゝもすると法律を知らない理由のみでなく、法を軽視して所要の許可手続きをせず転用する向きがありましたが、今後は、このような無断転用等、農地法違反の疑いのある事案については、罰則の適用や、工事の中止又は原形復旧等の厳重な取締措置がなされますから、今後は自分の農地又は他人の農地を買ったり借りたりして、農地を農地以外の目的に転用する場合は転用する日の約六十日以前に、農業委員会へ許可申請の手続きをなし、知事の許可を受け、次に掲げる〝農地法による転用許可済〟の掲示板を必ず工事現場に建ててから、工事を進めて下さい。

農地法による転用許可済	
許可指令番号	
許可年月日	
転用者氏名	
許可面積	
転用目的	

中里村農業委員会

◎許可手続の方法

申請人、当事者が次の書類をもって農業委員会におい出で下さい。

①申請人当事者の住民票抄本各一通。

②申請土地登記簿抄本、転用する土地一筆につき一枚（これは登記所で交付してくれます。一枚四十円です）

③申請人の印鑑

④施設の見取図又は設計書

⑤申請手数料　一件百五十円

（注）死亡者名義の土地について相続登記分割を要する土地については、分筆登記を済ませてから、農業委員会に来て下さい。なお不明の点は農業委員会におたずね下さい。

営業施設の見学

栄養教室受講生

栄養教室十四日間の日程の一つである施設見学（巡視）を昨年同様行ないました。伝染病の予防、食中毒の予防、その他の伝染性疾患予防のため、一家の家庭管理者であり、又調理を扱う調理技術者として欠くことのできない、基礎的な理論を四月から勉強。その総仕上げとして集団施設、旅館業飲食店、鮮魚、肉店、食品製造業、理美容店、食料品店と食品を直接又、間接人に接触する理美容の、それぞれ専門家として公に業としている人達の食品、職場の管理の仕方を直接に目で見、習った理論をどのように生かそうかと、自分の台所を思い浮べ乍ら、炎天下もめげず熱心に勉強しました。

巡視方法は、講師、保健所から三名、指導者として、中里食協会会長、指導員三名、三グループに分け一グループで二十名の多勢。

営業施設巡視要領にもとづき、八項目にわたり採点、午後一時から、各グループより発表、討論。これを集約すると、良かった点、悪かった点に分けられる。これは各々の立場考え方によっても採点が異って来ているが、

、自分の家庭を比較した場合、この二、専門業者なのだから、この位の管理や注意をした方がよい。この二点から見た丈でも大変な差が、出て来るものと思う。

（一）、良かった点

イ、清潔面は昨年よりよくなって来た

ロ、ハエがほとんどいなかった

ハ、殺菌熔換気扇の使用が大変よくなって来ていた。

（二）、悪かった点

イ、調理室は特に天井の清潔に気をくばる

ロ、調理中にくもやススの落ちる恐れがある

ハ、プロパンガスが調理室の中にある家が見受けられた

（火災防止やガス中毒の予防のために家の中に置いてはいけないことになっている）

ニ、調理及び盛付中は、白衣マスクをかけてほしい

ホ、井戸のふたは完全にして置く

（汚物がはいる丈でなく乳幼児等生命の危険防止にも）

▽悪かった点についてはお金をかけなくても日常の生活で解決出来ることがほとんどであった。

学級生もわが家の評価をよりきびしくし、清潔で働き易い台所で、栄養のある衛生的に安心な食事作りをするよう努力するものと思います。

見学対象となった営業者には心よく協力を頂いたことを厚くお礼申し上げます。

夏に多い交通事故

八月は盆帰り等で車両が増加し、交通事故の発生が多くなります。次のことがらをよくせって交通事故をなくしましょう。

- いつも元気で安全運転をしましょう。
- 過労、いねむり運転の防止。
- 二輪車に人を横乗りさせることはやめましょう。
- 雇用者は車の整備をよくしていつも安全な運転をさせましょう。
- 飲酒運転の防止。
- 歩行者の安全な横断の励行。

開眼募金ニュース

如来寺の池田辰栄さんは、眼が悪かったのを手術により、眼の状態が非常によくなり、その喜びは非常に大きく、世の中の盲人、全部がその喜びをつかんでほしいと思い、この度の開眼募金に穴あき五円玉ばかり二百五十ケ、役場社会厚生課へ届けてきました。

池田さん初め、皆さんの善意で開眼する人が、何人か生まれつつあることは、たいへん喜ぶべきことかと思います。

夏休みの今昔と課題

教育委員長　藤田五郎

楽しい夏休みに入った。子供の頃一年中で一番楽しかったのは盆、正月を待つ気持より、夏休みを待つ気持であった。

私達が子供の時分の夏休みは先生も、子供も本当に気楽に過ごしたものである。宿題も少なく、親兄弟の力を借りずとも、どうにか自分の力でやってのけられる程度の宿題ばかりであった。子供達も善良であり、山へ行っても、川へ行っても楽しく且安全であった。

夏休み中は先生にも研修会とかクラブ活動等の行事は全然なく郷里へ帰られたようである。従って夏休みに学校へ遊びに行っても勤務の先生が一人ポツンと退屈そうにして居られ、テニスのお相手をさせられてくたびれた懐しい思い出もある。

あの頃の子供というものは何かしら今の子供にくらべて逞しかったように思われて仕方がない。これも当時の生活環境の然らしめたところであったのかも知れない。

文化の進んだ今日では夏休みの親の悩みは子ども交通禍、水禍、不良化と仲々深刻である。交通禍、水禍の多い今日、親は子供が外出しても帰って来る迄はそのことが心配で用事も手につかない気持であるという。文明とは全く不便の面もあるものである。私達の子供の時はこのような心配は親達にとって殆んど無用であったといってもいゝ位である。この時代を仮に昔と言うならば、昔は自動車もなく汽車もなく馬車、自転車位が文明の交通機関に過ぎなかった。従って交通禍も起りようもなく埃は立たず、泥をはねられることもなかった。登校下校にも皆楽しく唱歌を歌い乍ら歩いたのである。今の子供は、登下校に歩く楽しさというものが全くないようである。只々交通禍から身を守ることに専念している有様は気の毒である。学校でもこのことについて近頃相当厳格に教え込んでいるようであるが、要するに教わった通りに注意深く振舞うことが何より大切であろうかと思われる。

夏休みに入る前に校長先生から注意事項として「二学期の始業式には全員元気で真黒に日焼けした顔を見せて下さい」と必ず注文される筈である。先生にして見れば、交通禍、水禍等によって万一可愛いゝ子供が学期初めに再び見ることの出来ない人になっては大変という気持が深刻なのである。

水禍について考えて見ると昔は発電所がなかったので信濃川や清津川は真夏でも滔々たる大河であった。その大河を小学校の五、六年生で体力の優れた子供は下流へ流され流され対岸目がけて泳ぎ切ったものである。又つゝみの満々とあふれるように溜った水の中で思う存分泳ぎ廻ったものであり当時は勿論監視員もなく只友達同志で励まし合いながら、お互が監視しつゝやったのであるが水死事故等は滅多に起ることではなかった。全く逞しい気力をもっていたものと感心せざるを得ない。

私もこの信濃川で、又つゝみで鍛えた我流の水泳で後日海岸青島の訓童中と大体同格に泳ぐことが出来たときは全く嬉しかった。水泳も憧病になってはいけない。プールが無いのでは仕方がないから「なかさと」六月号にある子供を水から守る運動の趣旨をよく研究されて勇敢に練習すべきであろう。隣接市町村では至るところプールが出来始めているので、当村もやがてその機運に向うものと思われる。

も一つの問題は子供の不良化である。これは若い芽を育てる心構えとして十分心得うべきことである。子供は親のいうことを仲々きこうとはしないが、親のすることは何でも真似するものであるという。又円満な家庭から不良の子供は出ないといわれている。このことは如何に家庭のだんらん、日常の親達の態度、心がけが子供達の成長に大きく影響するかを物語っている。

昔は子供に対する親の教育は「嘘つきは泥棒の始まり、人様のものは塵っ葉一つでも取れば泥棒である。警察の世話になるような人間は村には居られない」という絶対的の教育方針であったように思われる

昔の生活環境は非常におくらかであり、道徳教育も徹底しており、非行化しようにもしようがなかったのである。前に述べたよう全く大変である。今の親は子ならぬようにという注意を繰り返すこと以外に方法がないようである。

又この夏休みを利用して身につけさせたいことは、友達の家へ遊びに行ったら、そこの人に挨拶が出来るように、又食事の時間には必ず帰るとか玄関の掃除を引き受けるとか、不得意の学科を毎日、三十分なり一時間なり、しっかり身につけさせることによって、直接、間接に子供が有意義の夏休みを過ごすことが出来ると同時に習性となる機会を作る一助にもなるのではなかろうかと考える次第である。

第十六回郡市連合
社会福祉大会行なわる
田沢小講堂で

去る八月三日、田沢小学校体育館において第十六回郡市連合社会福祉大会が開催された。当日は六百人余りの参加者で講堂がいっぱいになり式典において、中里村では、通り山の小巻沢雅さん（身体障害者自立更正）田代の、桑原清太郎さん（子供会育成に貢献）貝野小沢、井ノ川カツさん（家族中の身体障害者をよく世話した）が表彰状を贈呈された。つづいて

①地域福祉対策について

②児童福祉対策について

③母子福祉対策について

④心身障害者（児）対策について

⑤老人福祉対策について

などの部会討議が午前中行なわれ、午後からは部会報告、総会と盛大に行なわれ、午後三時閉会した。

【写真は同大会の部会報告の一コマ】

中里文芸

——八月投句——

大泉

手渡しに夜店の西瓜積まれけり　春雷

若つばめ漫遊を矣いて集立ちけり　桑原イシ

ひぐらしは終日（ヒネモス）蒼き稲かな　涼子

吾が性（サガ）の時に悲しく瓜きざむ　ミチ

石焼げて清津の河童声に弾く　三代

夫のタビ苗場登山の土洗う　由記

魚鱗の如きらめく海と人と夏　おのえ

溜る寒へ炎ゆる湯遮断機に堰　江口一枝

一泊の旅の浴衣に星降りて